

## 令和七年度 三学期 始業式 式辞

「新年あけましておめでとうございます。」年末年始をどうすごしましたか？今日、生徒の皆さんが元気に登校する姿を見ることが出来、大変うれしく思います。3学期も一人ひとりの目標達成に向け努力していきましょう。

1月1日、能登半島地震から2年が経過しました。輪島での追悼式の様子や、それぞれの場所で復旧復興に向けて取り組む住民の姿が報道されていました。生徒の皆さんの中にも仮設住宅での生活が続いている人もいます。2年が経過しても、まだまだ震災前の状態に戻ったわけではありません。この時期に「アニバーサリー反応」と呼ばれる様々な反応が起こり得ます。ある出来事から1か月、半年、1年、2年といった節目の時期に、一度おさまっていた心身の反応がぶり返すことがあります。TVや新聞の報道を目にしたり、生活環境が改善しないことへのストレスだったり理由は様々ですが、緊張や不安、眠れない、いらいらする、勉強に集中できない等の反応が出るかもしれません。そんなときは、これは誰にでも起こりうることだと知っておいてください。そして、一人で悩まず、友人や家族、先生に伝えて下さい。皆で乗り越えていきましょう。

さて、今年は勢いや強さを象徴する「丙午」の年です。新年の新聞で、いしかわ首長（町長や市長）の座談会、今年の一文字という記事を目にしました。「翔」（町全体が飛翔するの翔）、「興」（復興を優先し、町が振興するようにの興）、「活」（市民が活躍するようにの活）、「創」（市民の希望を創るの創）、「連」（連帯、連続性を大切にの連）など、それぞれの首長は、市町の復興と飛躍を漢字一字に込めていました。

そこで私も新しい年を迎え、今の思いを漢字一文字で表してみました。「<sup>つづ</sup>続」です。震災前も後も人生は続いています。良いことがあっても悪いことがあっても、人生は続きます。令和8年10月10日には「創立80周年記念式典」が行われます。本校がこれまで紡いできた歴史を未来へ繋ぐために、我々は今を精一杯生きなければなりません。

今日から令和7年度三学期が始まります。三学期は年度の最後であり、学年の締めめの学期ですが、同時に新しい令和8年のスタートの学期でもあります。この三学期で、3年生は進学・就職に向け、新たなステージへ旅立つ準備をしっかりと行ってください。そして1、2年生は1つ上の学年に進むために力を蓄えてください。この三学期が、これからの皆さんの人生を決める大切な3ヶ月になります。

今年迎える創立80周年が90年、100年と続いていくよう、これからも生徒、教職員が一丸となって「チーム穴高」で進んで行きましょう。

以上、三学期始業式の式辞とします。

令和8年1月7日（水）  
校長 島崎 康一